



銅像山通信 第4号

浅野学園同窓会会報・平成13年 VOL 1

発行日：平成13年4月20日 発行人：浅野学園同窓会



80周年記念式典



祝賀会での大出同窓会長



石橋学校長
浅野理事長 大出同窓会長



式典での石橋学校長

目次

「卒業式にあたり浅野翁を偲ぶ」 同窓会長・大出 俊 ... 2	ほやほや会員 5 ・「我が母校、浅野」 77期・越智啓一朗 ・「浅野万歳」 77期・半田 充識
「贈る言葉」 浅野中学・高等学校長・石橋 義史 ... 2	平成12(2000)年度クラブ顧問一覧 6
平成12年度浅野学園同窓会総会報告 同窓会副会長・石崎 廣矣 ... 3	平成11・12年度主な活躍クラブ 6
委員会から(財務・総務・親睦・広報)..... 3	掲示板 7 ・同窓会ホームページのご案内 ・同窓会総会のご案内 ・同窓会名簿発刊 ・校歌・応援歌・80周年記念の歌 CD完成
平成11年度同窓会収支報告・12年度役員一覧 ... 3	・《浅野ネット》登録のお願い ・打越祭・入試説明会のご案内 ・出井善次著「私学中学教育の研究」(刊行案内)
会員だより 浅野学園に勤めた会員 4 ・「あの時代.....」 61期・古梶 裕之 ・「正直者だった私」 67期・青木 暁	編集後記 7 平成13年・大学入試合格者数一覧 8

ご挨拶

卒業式にあたり
浅野翁を偲ぶ

浅野学園同窓会会長
大出 俊(17期)

今年も浅野学園の卒業式が3月10日に行なわれ、265名の新会員が誕生した。私は同窓会の目的を説明して若い諸君の協力を求めておいたが、その後で、3月10日は学園の創立者浅野總一郎翁の誕生日でもあるので、浅野翁を偲び少し話をさせていただいた。

ドイツの知られた社会学者U・ベツクが21世紀を「危険社会」と定義している。

地球規模の環境破壊・汚染が限りなく進んでおり、PCB一つとってもいつ誰が被害にあうかわからない。学者が危険だと警告を発している遺伝子の組替え技術、飼料として試作のはずの組替トウモロコシが米国からの輸入トウモロコシに混入していることが分かり、政府は米国へ抗議するやら検査を求めるやら大騒ぎである。事故が起きれば甚大な被害を受ける、最終処理もできず、廃棄物を鉛のキャスクに入れて置いておくだけの原子力。さらにグローバル経済と言われ、一夜明けたら自国の通貨の価値が半減し、国民の財産が失われる事件がアジア各国で相次いだ。株価の崩落の危険。今年1年で19,071社の企業が倒産し、負債総額5兆円を越え、過去最高である。雇用の不安は避けられない。そしてまた20年先を見ると、地球の人口は今の60億が80億になると学者は言う。必要食糧の作付面積は今の地球の7倍が必要になる。まさに「危険社会」である。目標のない教育は荒唐する。だから教育の使命を人類の危機回避に置くという提案もある。

さて、昨年11月1日に中央公論社の女流新人賞を受賞された新田純子さんが浅野總一郎伝をまとめられ『その男、はかりしれず』という著書が「日本の近代化をつくった男、西欧の200年を80余年で駆け抜けた男」という副題をつけて出版された。実に膨大な資料に基づく、困難はわかりにくい廃棄物処理を手始めに次々と事業を拡大していった浅野翁の感動の物語を読ませていただいたが、新田さんは最後に、今の世に第二の總一郎が現われたら、何を言い出し、どんなことを実現していくだろうか、と発問して、「おそらく地球規模の自然保護や緑化対策、そして何よりも資源のリサイクルを果敢に実行するのではないか。私の想像力をはるかに超え、驚くほど創造的である總一郎という人物だから」と言い、「この物語は終わっていない。個人や企業や社会に大きな影響を与え続けた人物だから」と、翁の志が今日なお引き継がれるべきであると示唆している。

一番大きな影響を受けている浅野の同窓の諸君の中から第二、第三の總一郎が生まれることを、著者も私も期待してやまない。

贈る言葉



浅野中学・高等学校長
石橋 義史(31期)

(前略)先日、日曜日の夜7:20からのNHKTVで、古舘某が司会する「日本人の質問」という番組を見る機会がありました。そうして私はわが目を疑い、同時に背筋が寒くなる思いを禁じ得ませんでした。それは首都圏の数千人の小・中・高の生徒を対象に「最も好きな諺・最も嫌いな諺」を問うたところ、その集計結果は、あろうことが、なんと、最も好きな諺が「柵から牡丹餅」、嫌いなそれが「石の上にも三年」だったというのであります!

私たちの人生に必然の、乗り越えるべきハードルを、一つまた一つと取り除き、平坦に均らしたヤワな土壌で育った青少年たち(総てとは言いませんが)の行き着いた先がこれなのであります。まさにグローバルな視野に立って生きていかなばならない若い日本人が、この体たらくであります。無論、ツケを支払わなければならないのは、軟体動物・無脊椎動物のような、それでいて物にばかり執着してきた、われわれ日本人以外にはあり得ません。

私の述べ来たった話がいささか悲觀的に過ぎると受け取られたら、それは私の真意ではありません。例えば1930~50年代にかけて活躍した、レイモンド・チャンドラーという推理小説界の大御所がおりました。『長いお別れ』『さらば愛しき女よ』『大なる眠り』等のハード・ボイルド・タッチの作品で知られていますが、『プレイバック』という遺作の中で、主人公のフィリップ・マーロウが呟いた有名な科白があります。それは「男は強く(tough)なくては生きていけない。優しく(gentle)なければ生きる資格はない」という、いささかキザにも響きましようが、しかし断固として諸君の生きる指針の一つにしてみたい言葉であります。《優しさに裏打ちされた強さ、強さに裏打ちされた優しさ》なのです。toughであることとgentleであることとは共存し、表裏一体をなすものなのです。

どうか諸君、そういう“強い優しさ”を、“優しい強さ”を体現した男であってほしい。そうして、たゆむことなく精進を重ね、冒頭で述べたような、言葉の真正な意味における“日本人”として、社会へ世界へ大きく羽撃いていてほしい。日本を洗濯し建て直すことができるのは、若い諸君を措いて他にはないのですから。

卒業生諸君、お父さまお母さま方、万感の思いをこめて、ひとまずお別れいたします。6年間、ほんとうに有難うございました。

(平成12年度 浅野高等学校卒業式 式辞 からの抜粋)

総会報告

平成12年度 浅野学園同窓会総会報告

平成12年度浅野学園同窓会総会は『銅像山通信』第3号に予告された通り、6月3日(土)午後5時30分より新横浜プリンスホテルにおいて134名の出席を得て開催された。議案書に従って提案された全議題はすべて満場一致の拍手をもって可決承認され、円滑に閉会できたことはまことに喜ばしいことである。

今回の総会は、昨年度選任された大出俊会長指導による初めての事業年度であり総会であったこと、母校の創立80周年の記念の年にあたり、同窓会として記念事業にどのように協力し祝意を表することができるかという重要な総会であったこと、の二点を強調できるが、無事終了できたということは、まことに意義深いものであったと言っても過言ではないと思う。

今回の総会を省みて、本会が平成8年度より活性化の歩みを始め、着々と成果をあげて活動を続けていることはまことに喜ばしいことであるが、まだまだ数多くの問題をかかえており、本来の目的達成のためにはさらに時代を反映して新しく生ずる問題の解決も図っていかねばならない。そしてそのためには何といたっても全会員諸兄の熱いご理解・ご支援を仰がねばならぬこと、特に年度会費を納入していただくことが問題解決の最重要事項であることが痛感される。

多くの会員諸兄に年度会費の納入を重ねてお願い申し上げて、総会のご報告にかえさせていただく次第である。

【同窓会副会長 石崎 廣矣(15期)】

委員会から

(委員名の表中の太字は委員長、 は在校幹事)

財務 リセッション、デフレ、株価急落などなど、我が国を取り巻く経済環境は厳しい雰囲気になっておりますが、我々同窓会においては、90歳を越えられた浅野草創期の先輩から大学在学中のフレッシュ会員に至るまで、年会費の振り込みは増加しております。浅野生OBの熱き思いに感謝。
この熱き志は、浅野学園の名を高らしめるべく文武に精神を傾注する在校の後輩諸君、目標を高く掲げ入学する新入生諸君に対し、我々OBの感謝と期待の気持ちとして確実に伝わり始めております。
(財務委員会委員長 45期 川下 資文)

財務				
45期	川	下	資	文
	岩	崎	正	樹
53	広	瀬	昌	治

総務 平成12年度は、浅野学園創立80周年記念行事に協力させていただきました。お陰様で『同窓会名簿』、「校歌・80周年記念歌」のCDを発行・作成することができました。同窓会会員皆様のご支援とご協力をいただきましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。本年度も同窓会の更なる活性化を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
(総務委員会委員長 36期 加藤 勇治)

総務									
36期	加	藤	勇	治	21期	大	原	恒	夫
17	小	野	善	一	30	阿	藤	溝	潔
18	五	十	嵐	周	31	阿	横	中	賢
18	加	藤	作	明	46	中	島	野	賢
18	谷	口	榮	郎	58	大	野	野	浩
19	苅	部	吉	郎	64	堤	野	野	敬

親睦 総会、懇親会には、多数ご参加いただきありがとうございました。大掛かりな総会は原則として隔年で、本年度は校内においての開催となります。従って懇親会は基本的には行なわないのですが、せっかくの機会なので総会終了後、学校の近くで一席設ける予定であります。皆様に気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。
(親睦委員会委員長 48期 斎藤 清紀)

親睦									
48期	斎	藤	清	紀	40	池	田	政	弘
20	大	山	豊	造	42	小	沢	治	雄
29	上	杉	政	勝	48	原	原	茂	男
30	加	藤	行	一	48	高	橋	洋	一
36	菜	花	衛	典	75	石	垣	太	三
38	小	池	典	典	45	酒	井	井	晴

広報 同窓会ホームページへのアクセスもこの3月現在で、6,800を越えました。これに比例して多様な意見も寄せられていますが、同窓会員の自由な意見の場と考えていますので、近況も含め、どんどんアクセスしてください。
また、本年発行の同窓会名簿に住所等ブランクの方の消息もお寄せください。
ホームページ以外での『銅像山通信』も、最低年1回は必ず発行し、内容も充実させたいと委員一同頑張っておりますので、今後もよろしくご協力いたします。
(広報委員会委員長 45期 古川 高夫)

広報									
45期	古	川	高	夫	55	富	田	悦	生
38	山	口	秀	彦	58	都	築	淳	一
44	石	堂	照	彦	46	阿	部	義	広
48	佐	藤	洋	輔	52	岩	崎	義	泉
48	萩	原	壽	昭	58	大	野	浩	光
49	細	野	泰	彦					

平成11年度 同窓会収支報告

(支出の部)		(収入の部)	
項目	金額	項目	金額
一般管理費	1,899	会費収入	8,761
事業費	4,416	預貯金利子	2
積立金	1,000	雑収入	521
予備費	0	前年度繰越金	3,423
次年度繰越金	5,392		
合計	12,707	合計	12,707

(単位：千円)

平成12年度 同窓会役員

期	役割	氏名
17	会長	大出 俊
31	顧問	石橋 義史
15	副会長	石崎 廣矣
38	副会長	岡本 順太郎
40	副会長	淡路 雅夫
45	会計	川下 資文
	会計	岩崎 正樹
45	監事	古川 高夫
53	監事	広瀬 昌治

は在校幹事

あの時代.....

古梶 裕之 (61期)

今から23年前に入学して、17年前に卒業、母校に勤めて13年目となります。結局19年程浅野とかかわっています。
 在学中、校舎は今と違ってボロくて暗く汚かったのですが、記念館は天井が高くてがっしりとした造りで“教室”という雰囲気がありました。もちろん今の校舎の方が明るくてきれいですが、建物の個性という点で言えばやはり記念館が我が教室という感じです。

中学に入学して数学の授業のときに必ずお経を唱える先生がいました。浜辺先生です。ある時は永平寺で録音してきたお経を聞かされたこともありまして。3年間、週に3回です。おかげで今では般若心経の半分位は空で言えます。また、浅野のときの友人に会うと必ず聞かれることは、「やっぱりお経を授業の前に唱えるの?」ということで、「やってないよ」と答えると、「えー、なんで、やればいいのに」と返ってきます。皆の中に共通に残っている思い出のひとつです。今教師の立場で考えると、あれは生徒の呼吸を整えるのには有効な方法だったのだと思います。

あの頃はそんな個性的な先生方が多かったように思います。そして、今教壇に立つ私に良くも悪くも多大な影響を与えてくれました。その当時、私を担当していた先生方と同僚となり、更に担任として同じ学年を組むと、不思議な感じと共に結構面白かったりする、それも私学の良さなのでしょう。きっと歴史は繰り返すで、いつか今の教え子の中から同僚となる生徒が出るかもしれません。それが楽しみでもあります。

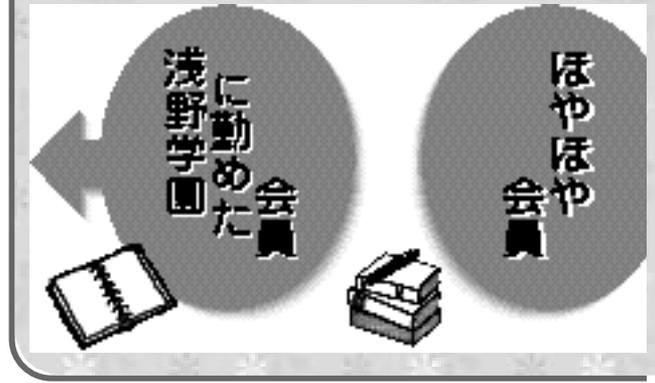
最近の生徒は“いい子”が多いのですが、集団でひとつのモノを創り上げる喜びや楽しさを感じていないようで、何か物足りなさを感じます。

中一の頃に感じた高二、三の先輩たちの型やぶりな力強さ、雄々しさ、元気のよさは、今でも忘れられません。

(浅野中・高等学校数学科教諭)



会員だより



正直者だった私

青木 暁 (67期)

母親の「今、頑張って私立の中・高一貫校に入学すれば高校受験が無いから楽」との言葉を真に受け、その気になって3、4校受験をしたら、2月下旬になって浅野から「繰り上げ合格」の連絡。今度は父親が「補欠といっても1、2点の差。実力的には問題無いから堂々と行け」と。「おお、それもそうだ」と何とも正直な私、うきうきしながら4月を待った。次は当時T学園に通い、剣道部に所属していた兄が「私立中に入ったら運動部に入るのが当たり前。しかも強い所。じゃないと苛められるよ。あと、1年は当然坊主だね」と言う。坊主頭には抵抗があったが、校内暴力が社会問題化していたので「それは困る」から床屋に行った。スポーツ、特に球技は得意であったため、「入学したら早速一番強いクラブに入ろう」と密かに思った。

4月になって、「勉強はしなくていいけど、クラブで体を鍛えてないとなめられる学校」という誤てる認識で入学すると、何やら様子が違うとさすがに気づく。

まず最初に、一緒に入学した仲間が皆フレンドリーだということ。それはとても良いことだが、まだ4月だというのに他のクラスの人と親しげに喋っているのを目の当たりにし、「都会の子はなんて社交的なんだ」と驚愕した(実は単にNとかYとかの塾繋がりだったただけなのだが)。

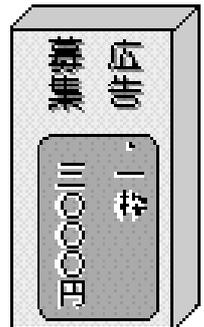
そして次に、これはもう「騙された!」とさえ思った。何がかというと、みんなよく勉強するのだ。そして先生方もそれに応えるかのようにバンバン授業をする。「お前らずるいじゃないか。一緒に6年間楽チンで行くはずじゃなかったのか」と呑気で身勝手過ぎる言い分で、友達を怠惰な道(勉強しない道)に引きずり込んだのは精一杯の抵抗だった。まあ、付き合わされた方は迷惑だったろうが、皆、すまん(先生方にも)。

そんなこんなでスタートした「浅野生活・生徒編」。友人や先生方との出逢い、熱中したハンドボールのこと、書きたいことは山ほどあるが、紙幅がつかたので「浅野生活・職員編」とともにまたの機会に.....。

(浅野中・高等学校 事務職員)



<p>資産形成・財産防衛の プロ集団 株式会社 クリエイトブ Tel0466-50-1172・Fax0466-50-2776 第48期 秋本 義人</p>	<p>横濱・イセザキ町 特選呉服 宝屋 横浜市中区伊勢佐木町5-129 電話 045(261)0280代 浅野学園 48期 石土秀貴</p>	<p>特定医療法人社団育成社 佐々木病院 院長 佐々木 啓吾 48期 〒230-0012 Tel 045-581-0489 横浜市鶴見区下末吉1-13-8 内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科 放射線科・循環器科・消化器科・呼吸器科 心療内科・リハビリテーション科</p>
---	---	---



我が母校、浅野

越智 啓一朗 (77期)

時が経つのは本当に早いもので、私が浅野高校を卒業してはや1年が過ぎてしまった。大学生となつてのこの1年間といえば、念願であった東大野球部に入り、多くの時間を野球に割いて頑張ってきたように思う。そして時には浅野へ足を運び、後輩に野球を指導したり、先生方と話をしたりしていた。浅野へ行くとなんとなく落ち着く感じがするので、これからも暇を見つけて顔を出そうと思っている。

そんな浅野学園に在学中のことを振り返ってみると、私は中学・高校とずっと野球をやってきて、野球の思い出もたくさんあるが、一番心に残っていることと言えば、やはり大学受験である。私は中学の頃、勉強と部活をうまく両立させることができたが、高校になると自然と野球に打ち込むようになり、勉強との両立がうまくいかなくなって成績は下がっていった。しかし、そこで諦めずに頑張って受験に成功したことは、何より自分自身誇りに思っていることである。もちろん、先生方・親・友人等の協力があってこそ達成することができたわけであるが。

また、浅野時代に出来た友人というのは、本当に大切なものである。部活を一緒に頑張ってきた友人や、協力し合いながら受験を乗り越えてきた友人は、今でも心の通じる良き友である。先生によく「高校時代の友人は一生の友人になるから大切にしろ」と言われた記憶があるが、大学生になった今、その言葉を身をもって実感しているところである。

何かあまりまとまりのない文章になってしまったが、私は浅野学園が好きだ。本当に良い学校であると思う。私だけではない。卒業していった私のまわりの皆の口からも、「浅野良かったな」という言葉をよく耳にする。自分の出身校を誇りに思えることは実に嬉しいことである。

(平成12年3月卒業)



浅野万歳

半田 充識 (77期)

眠い目をこすりながら、急ぎ足である打越坂を登った日々は、今でも鮮明に胸に甦ります。サッカー部員として6年間部活に打ち込んだこともあり、浅野での数ある思い出の中で、部活動のことが強く思い出されます。部活を通して親しくなった仲間と過ごした時間、日々の厳しい練習、また、それに耐え抜き、勝利という目標を達成した時の喜びは、何物にも代え難いものとなりました。

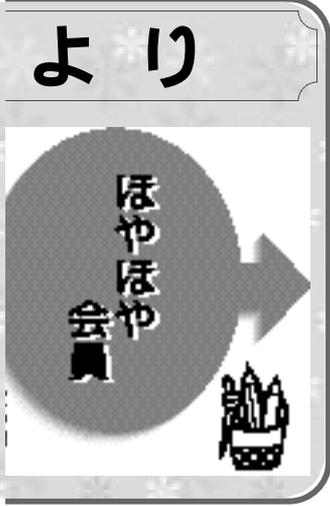
のとなりました。

特に、高校生活最後の試合に敗れた時の気持ちは忘れることができません。日々の積み重ねを出し切れなかった悔しさ、自分自身の臍甲斐なさを痛感し、「なぜもっと練習しなかったのか」「なんでもっと頑張れなかったのか」という強い後悔が込み上げてきました。終わってから後悔しないために、一日一日を真剣に取り組むことの大切さは、今の自分にとって貴重な財産となっています。

部活を引退した後の受験勉強の際も、「終わってから後悔したくない」との思いが、毎日勉強を続けていくうえでの支えとなりました。また、勉強に挑戦していく中で自分のやりたい事、進みたい道が分かり、将来のことも具体的に考えることができました。現在、大学で経済学を主に学んでいますが、自分の好きな分野をより専門的・多角的に学ぶことができる楽しさ、受験勉強とは違う楽しさを実感しています。また、自主性が大きい反面、惰性に陥りやすいということも1年間の大学生活で分かってきました。

改めて浅野を振り返ると、勉強にしろ部活にしろ好きなことができる素晴らしい学校であると思います。その環境を作り出してくれた先生方、同窓生、級友たちに感謝の気持ちで一杯です。浅野同窓生として、これからも誇りをもって頑張っ

てまいります。(平成12年3月卒業)



<p>住宅・環境養生・電線・居間 電話会社 佐藤夕祐建築設計事務所 電話：045-250-1648 email: edo@y.email.ne.jp 第48期 佐藤夕祐</p>	<p>PHARMACY  COSMETIC 日の出薬局 横浜市中区日の出町1-28 ☎045(231)5409(代) 薬剤師 高橋洋一 48期卒業</p>	<p>創業明治五年 天婦ら・会席料理 天吉 第48期 店主 原 成 男 しげ ち 営業所 横浜市中区港町2丁目9番地 〒231-0017 TEL045(681)2220(代) FAX045(671)1287</p>
--	---	--



平成12(2000)年度クラブ顧問一覧

(浅野中・高等学校生徒会顧問部調べ/2000.4.11)

クラブ名	顧問	平12年 部員数	クラブ名	顧問	平12年 部員数
陸上競技	八木 石井 古梶	37名	アメリカンフットボール	斉藤 沼沢 森	9名
水泳	愛甲 土門 河田	24名	野球	出井 柏崎 大野 岩崎 宮坂	101名
バレーボール	中村 里見 伊藤	43名	生物	吉澤 大塚 剛	31名
バスケットボール	田中 堤 更田 稲葉 大塚 剛	40名	物理	小西 安部 沼沢	28名
体操	(注)	-	化学	本多 更田 徳山	24名
バドミントン	山崎 安井 今井	38名	地学	波田野 庄子	23名
ラグビー	岩崎 佐藤 磯崎 泰	42名	写真	佐々木 田中 政 (教室管理本多)	3名
サッカー	永山 酒井 芳賀 波田野	64名	棋道	小崎 橋本	29名
ハンドボール	山田 吉澤 徳山	80名	J R C	前田 大塚 (淡路)	9名
卓球	奥野 越智 安部 鈴木	54名	遺跡研究	出井 酒井	9名
剣道	前川 原田 加藤 勉	38名	鉄道研究	大野 堤	14名
柔道	平山 西澤 大川	26名	美術	加藤 田中 幸 賢	9名
登山	比留間 麻生 大塚 重	14名	書道	(注)	-
テニス	広瀬 灘山 持丸 金子	132名	吹奏楽	曾我 松岡 宮坂	39名
ボクシング	永岡 庄子	17名	時報 (新聞)	阿部 西澤 石井	11名
アーチェリー	松岡 押田 小西	28名	オーディオビジュアル 演劇	関谷 大川 稲葉 麻生	16名 27名



平成11年度主な活躍クラブ

柔道部 市大会ベスト8
 ハンドボール部 高校：関東大会出場
 中学：神奈川県ジュニア選手権準優勝
 ラグビー部 横浜市7人制大会準優勝
 登山部 関東大会出場
 物理部 PSC(パラレルソフトウェアコンテスト)3位入賞
 鉄道研究部 神奈川県高等学校総合文化祭第11回鉄道研究発表会 研究発表部門第1位(矢崎博之)

現在の学園のクラブ活動の顧問の先生、部員数をお知らせします。勉強だけでなく文武両道で頑張っている在校生諸君の、クラブ活動での更なる活躍に期待したいと思います。同窓会員の皆さまの中で、後輩たちの練習や夏季合宿を見学したいという方は、直接顧問の先生にお問い合わせください。
 [TEL浅野中・高等学校 045(421)3281]

平成12年度主な活躍クラブ

ハンドボール部 中学：神奈川県ジュニア選手権優勝
 アーチェリー部 東京インドア大会ジュニアR.C.部門1~5位独占
 アメリカンフットボール部 県秋季大会ベスト8
 登山部 関東大会出場
 ボクシング部 山口滋(高三):フェザー級で関東大会出場
 ラグビー部 横浜市7人制大会優勝
 時報部 大東文化大学主催全国学校新聞コンクール“優良賞”受賞
 演劇部 関東高等学校演劇発表会出場
 鉄道研究部 神奈川県“教育長賞”受賞(梅村俊祐)



写真撮影：大野浩光

掲 示 板

同期会の案内、その他同窓会員への広報を目的とした お知らせ を掲載ご希望の方は
原稿をお寄せください。〔浅野中学・高等学校 阿部義広まで T E L 045 (421) 3281 〕
F A X 045 (421) 4080 〕

No. 1 浅野学園同窓会ホームページ

平成11年6月より運用中！（アクセス数6800を超えました）

<http://www.alles.or.jp/asanodou/>

同期会、クラブ活動OB会など積極的にご活用ください。
名簿登録データの更新も行なえます。
個人のホームページへのリンクも行なっております。

No. 2 平成13年度
浅野学園同窓会総会

日時 6月2日(土)
午後3時30分～
会場 浅野学園講堂(中学棟2階)
終了後、ささやかな懇親会も予定しております。
詳細は、本会報と同封の案内状をご覧ください。

No. 3 『同窓会会員名簿』発刊

同窓会では、学園の80周年に合わせて、昨年12月に『同窓会会員名簿』(ハードカバー・A4版 約580頁)を発刊しました。郵便番号7桁ほか、さらに判明した住所も多く掲載しています。お申し込みは学校まで。3,600円。

- 最近、名簿が悪用されるということが社会的にも問題になっています。くれぐれも管理にご注意ください。

No. 4 同窓会作成
校歌・応援歌
80周年記念の歌
CD完成!!

- ♪ 校歌のカラオケも入っています。
- ♪ 1枚 1,000円
- ♪ お申し込みは学校まで

No. 5(同窓会・学校より)
《浅野ネット》登録のお願い

同窓会としての、在校生への心の援助として、在校生に進路アドバイス・職業の説明、その他の人生の先輩としての助言をしていただける同窓会員の有志の方を募っております。賛同いただいた会員は登録同意書をご提出いただき《浅野ネット》の一員として、ご都合のいい時、学校が行なう進路説明会等へのご協力をお願いすることになります。ご協力をよろしくご願ひ申し上げます。

ご質問・ご賛同の方は学校教頭・淡路雅夫まで

No. 6(学校より)
打越祭

- 第1部文化祭... 9/15(土)・16(日)
- 第2部体育祭... 9/30(日)

(雨天順延)

中学入試説明会(一般対象)

会場：浅野学園体育館
第1回.....10/13(土)午後2時～
第2回.....10/20(土)午後2時～
詳細は学校にお問い合わせください。

No. 7(刊行案内)
出井善次(本校社会科教諭・教務部長)著
『私学中等教育の研究
戦時下浅野総合中学校の事例』

昭和13年から20年までの苦難にみちた戦時下の私学中等教育の推移を、浅野学園の『職員会議録』等の史料から分析。他に「大磯臨海学校」等での生徒生活を資料編として掲載。筑摩書房発行、定価4,500円(税別)。有隣堂他県内書店にて発売。学校購買部(秋山書店)にて発売。

編集後記

この第4号は、「80周年特集号」であった3号の12ページから8ページに戻るため、編集は楽になると油断したのがいけません。会報の編集、「掲示板」ページの原稿執筆だけではなく、年度会費納入者名簿作成、総会(および幹事会)の案内文・返信葉書の作成、年度会費の振込用紙の発注、加えて浅野ネットの案内文の訂正と、総会案内と一括して送付しなくてはならないため、その封入物の作成作業が重なっててご舞い。迂闊にも同窓会報だけしか頭になかったのが慌てた要因です。反省！

今号は、初めての試みとして、48期の方々のご協力でご報告を6件掲載し、また、会員諸兄が常に気にかけている後輩たちのクラブ活動について、現在の顧問の先生、部員数をお知らせしました。次号への広告の掲載希望、取り上げてほしい企画案がございましたら奮ってお寄せください。お待ちしております。最後になりましたが、お忙しいなか原稿を執筆くださいました大出会長、石橋学校長をはじめ同窓諸兄に心よりお礼を申し上げます。

同窓会広報委員会 古川 高夫(45期) 阿部 義広(46期)

『銅像山通信』・第4号

発行日 平成13年4月20日(金)

発行人 浅野学園同窓会
代表 大出 俊

発行所 ☎221-0012
横浜市神奈川区子安台1-3-1
浅野中学・高等学校
T E L 045 - 421 - 3281
F A X 045 - 421 - 4080

編集 浅野学園同窓会広報委員会

印刷 ☎105-0014
港区芝3-4-12 2F
(株)廣濟堂 東京営業所
T E L 03 - 5442 - 0371

